

第2章 高齢者の現状と将来推計

1 高齢者の現状

(1) 人口構成

- 2023年10月1日現在の本県の人口は、7,480,897人で、2020年と比べ61,518人減り、0.8%の減少となっています。
- このうち65歳以上人口は1,923,341人で、2020年と比べ58,738人増え、3.2%の増加となっています。
- 高齢化率（65歳以上人口の総人口（年齢不詳を除く）に対する割合）は25.7%となり、年々上昇し、高齢化が進行しています。
なお、全国の高齢化率は29.0%（総務省「人口推計」2022年10月1日（確定値））となっており、本県の場合、3.3ポイント程度低い状況です。
- 75歳以上の後期高齢者人口は1,078,091人で、2020年と比べ120,277人増え、12.6%の増加となっています。
- 一方、介護保険の被保険者となる40歳以上人口は4,496,005人で、2020年と比べ150,365人増え、総人口（年齢不詳を除く）に対する割合は60.1%となり、県民の約6割が40歳以上という状況です。
- なお、0～14歳人口の総人口（年齢不詳を除く）に対する割合は12.4%で、65歳以上人口の割合より13.3ポイント低くなっています。
- 老人福祉圏域別の人口構成をみると、65歳以上人口の割合が最も高い圏域は、三河山間地域を抱える東三河北部圏域で40.1%となっており、県平均の25.7%に比べて14.4ポイント高くなっています。
- 一方、高齢者人口の割合が最も低い圏域は、自動車関連企業が集中する西三河南部西圏域で22.7%となっており、最も高い東三河北部圏域と比較すると17.4ポイント低くなっています。
- なお、2020年と比べると、各圏域とも65歳人口の割合が上昇しています。

◆ 人口構成の推移

区 分		2000年	2010年	2015年	2020年	2023年
総人口		人 7,043,300	人 7,410,719	人 7,483,128	人 7,542,415	人 7,480,897
年齢 三分 区 分	0～14歳	(15.4) 1,081,280	(14.5) 1,065,254	(13.8) 1,022,532	(13.3) 973,642	(12.4) 928,750
	15～64歳	(69.8) 4,914,857	(65.2) 4,791,445	(62.4) 4,618,657	(61.3) 4,502,713	(61.9) 4,628,806
	65歳以上	(14.5) 1,019,999	(20.3) 1,492,085	(23.8) 1,760,763	(25.4) 1,864,603	(25.7) 1,923,341
年齢 別	40歳以上	(48.3) 3,402,188	(52.3) 3,918,751	(57.0) 4,218,119	(59.2) 4,345,640	(60.1) 4,496,005
	75歳以上	(5.6) 393,541	(8.9) 652,929	(10.8) 797,920	(13.0) 957,814	(14.4) 1,078,091

(注1) 総人口には年齢不詳を含むため、年齢三分区分の合計とは一致しない。

(注2) カッコ内は、2000年、2023年は総人口に対する割合(%)、2010年、2015年、2020年は年齢不詳を除いた総人口に対する割合(%)

(資料) 2000年、2010年、2015年、2020年は「国勢調査」、2023年は「あいちの人口」(県民文化局)(2023年10月1日現在)

◆ 圏域別人口構成(2023年10月1日現在)

区 分	総人口	40歳以上人口		65歳以上人口		75歳以上人口	
名古屋・ 尾張中部	人 2,495,532	人 1,493,554	% 59.8	人 634,286	% 25.4	人 360,449	% 14.4
海部	321,019	202,067	62.9	89,580	27.9	51,804	16.1
尾張東部	476,044	283,912	59.6	119,736	25.2	68,570	14.4
尾張西部	506,612	319,531	63.1	142,737	28.2	81,495	16.1
尾張北部	726,358	446,034	61.4	194,894	26.8	112,277	15.5
知多半島	620,223	368,807	59.5	159,231	25.7	89,296	14.4
西三河北部	478,247	277,343	58.0	113,152	23.7	59,983	12.5
西三河南部東	424,100	249,725	58.9	103,128	24.3	54,547	12.9
西三河南部西	698,119	397,184	56.9	158,655	22.7	85,327	12.2
東三河北部	49,826	35,858	72.0	19,998	40.1	11,095	22.3
東三河南部	684,817	421,990	61.6	187,944	27.4	103,248	15.1
計	7,480,897	4,496,005	60.1	1,923,341	25.7	1,078,091	14.4

(注) 年齢不詳を除いた総人口に対する割合(%)

(資料) 「あいちの人口」(県民文化局)

(2) 第1号被保険者数

- 2023年4月末現在の本県の第1号被保険者数は1,895,321人で、2020年と比べて1.0%増加しています。
- 圏域別では、名古屋・尾張中部圏域が613,835人で32.4%を占めています。次いで、尾張北部圏域が194,138人で10.2%、東三河南部圏域が187,104人で9.9%の順になっています。
- 圏域別の2020年4月から2023年4月までの増加率では、西三河北部圏域と西三河南部東圏域が3.4%増と最も高く、東三河北部圏域では1.2%、海部圏域では0.3%の減少となっています。

◆ 圏域別第1号被保険者数

区 分	2000年 4月 (A)		2020年 4月 (B)		2023年 4月 (C)		C/B		C/A	
	人	%	人	%	人	%	%	%	%	%
名古屋・尾張中部	354,827	35.4	611,777	32.6	613,835	32.4	100.3	173.0		
海部	44,950	4.5	89,923	4.8	89,649	4.7	99.7	199.4		
尾張東部	53,140	5.3	115,691	6.2	117,426	6.2	101.5	221.0		
尾張西部	71,571	7.1	140,212	7.5	140,788	7.4	100.4	196.7		
尾張北部	89,625	8.9	193,578	10.3	194,138	10.2	100.3	216.6		
知多半島	82,035	8.2	157,472	8.4	158,777	8.4	100.8	193.5		
西三河北部	47,159	4.7	109,027	5.8	112,714	5.9	103.4	239.0		
西三河南部東	50,305	5.0	99,209	5.3	102,574	5.4	103.4	203.9		
西三河南部西	83,394	8.3	155,174	8.3	157,997	8.3	101.8	189.5		
東三河北部	17,406	1.7	20,567	1.1	20,319	1.1	98.8	116.7		
東三河南部	107,542	10.7	184,634	9.8	187,104	9.9	101.3	174.0		
合計	1,001,954	100.0	1,877,264	100.0	1,895,321	100.0	101.0	189.2		

(注) %は構成比、端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料)「介護保険事業状況報告」

(3) 高齢者等のいる世帯の状況

- 2020年国勢調査によれば、本県の「一般世帯」数は3,233,126世帯であり、2015年と比べ173,170世帯増え、5.7%の増加となっています。
- 「65歳以上の高齢者のいる世帯」数は1,197,268世帯で「一般世帯」数に占める割合は37.0%となり、10世帯に4世帯は高齢者のいる世帯となっています。また、2015年と比べると54,404世帯増加し、4.8%の増加となっています。

- 高齢者の「高齢単身世帯」数は、323,796 世帯で「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数の 27.0%を占め、2015 年と比べると 43,032 世帯増加し、5 年間で 15.3%の増加となっています。
- 夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦のみの「高齢夫婦世帯」数は 352,211 世帯で「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数の 29.4%となっており、2015 年と比べ 23,227 世帯増え、7.1%の増加となっています。
- 「高齢単身世帯」数と「高齢夫婦世帯」数を合わせると、676,007 世帯となり、「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数の 56.5%が高齢者世帯となっています。
- 子どもなどと暮らしている「その他の同居世帯」数は 521,261 世帯で、これは「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数の 43.5%であり、2015 年と比べ 11,855 世帯減り、2.2%の減少となっています。

◆ 高齢者等のいる世帯の状況

区 分	一般世帯 A	左のうち 65 歳以 上の高齢者のいる		高齢単身世帯		高齢夫婦世帯		その他の同居世帯	
		世帯 B	B/A	C	C/B	D	D/B	E	E/B
	世帯	世帯	%	世帯	%	世帯	%	世帯	%
2010 年	2,929,943	991,869	33.9	217,326	21.9	278,356	28.1	496,187	50.0
2015 年	3,059,956	1,142,864	37.3	280,764	24.6	328,984	28.8	533,116	46.6
2020 年	3,233,126 (5.7%)	1,197,268 (4.8%)	37.0	323,796 (15.3%)	27.0	352,211 (7.1%)	29.4	521,261 (△2.2%)	43.5

(注) 2020 年カッコ内は、2015 年に対する増加率

(資料) 「国勢調査」

- 圏域別にみると、「一般世帯」数に対する「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数の割合が最も高いのは、東三河北部圏域で 61.3%となっており、逆に最も低い圏域は、名古屋・尾張中部圏域の 33.6%となっています。
- 「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数に占める「高齢単身世帯」数の割合は、名古屋・尾張中部圏域の 34.2%が最も高く、次いで尾張北部圏域の 25.6%、尾張東部圏域の 25.0%となっており、大都市及びその近郊を中心とした尾張地域で高くなっています。
- 「65 歳以上の高齢者のいる世帯」数に占める「その他の同居世帯」数の割合は、西三河南部西圏域の 50.7%が最も高く、次いで東三河南部圏域の 50.2%、西三河北部圏域の 49.0%となっています。

◆ 圏域別高齢者世帯の状況

区 分	一般世帯 A	左のうち 65 歳以 上の高齢者のいる							
		世帯 B		単 身 世 帯 C		夫 婦 世 帯 D		その他の同居世帯 E	
		B/A	C/B	D/B	E/B				
名古屋・ 尾張中部	1,191,423	400,891	33.6	136,921	34.2	113,171	28.2	150,799	37.6
海 部	127,975	56,756	44.3	13,108	23.1	16,402	28.9	27,246	48.0
尾張東部	194,667	72,321	37.2	18,059	25.0	24,781	34.3	29,481	40.8
尾張西部	203,752	89,093	43.7	21,053	23.6	26,045	29.2	41,995	47.1
尾張北部	305,535	121,379	39.7	31,122	25.6	39,782	32.8	50,475	41.6
知多半島	258,395	99,267	38.4	24,378	24.6	30,936	31.2	43,953	44.3
西三河北部	200,738	67,802	33.8	13,671	20.2	20,941	30.9	33,190	49.0
西三河南部東	172,208	62,574	36.3	13,893	22.2	19,004	30.4	29,677	47.4
西三河南部西	282,963	98,360	34.8	21,787	22.2	26,665	27.1	49,908	50.7
東三河北部	20,154	12,358	61.3	2,767	22.4	3,563	28.8	6,028	48.8
東三河南部	275,316	116,467	42.3	27,037	23.2	30,921	26.5	58,509	50.2
合 計	3,233,126	1,197,268	37.0	323,796	27.0	352,211	29.4	521,261	43.5

(資料) 2020 年「国勢調査」

(4) 要介護者等の状況

- 圏域別に第1号被保険者に対する要介護・要支援認定者の出現率をみると、割合が最も高いのは名古屋・尾張中部圏域で 20.1%となっており、逆に最も低い圏域は、東三河南部圏域の 15.2%となっています。
- 本県全体の第1号被保険者に対する要介護・要支援認定者の出現率をみると、17.4%となっています。全国値が 19.0%であることから、本県は第1号被保険者に対して要介護・要支援認定を受けられている方の割合は 1.6 ポイント低くなっています。また、2020 年度では 16.6%となっているのに対し、2023 年度では 17.4%となっており、0.8 ポイント増加しています。

◆ 圏域別要介護・要支援者の状況（2023年4月末現在）

区 分	第 1 号 被 保 険 者	要介護・要支援認定者	出 現 率 (対第1号被保険者)
名古屋・ 尾張中部	人 613,835	人 123,553	% 20.1
海 部	89,649	15,195	16.9
尾張東部	117,426	19,381	16.5
尾張西部	140,788	23,585	16.8
尾張北部	194,138	31,579	16.3
知多半島	158,777	26,880	16.9
西三河北部	112,714	17,277	15.3
西三河南部東	102,574	16,597	16.2
西三河南部西	157,997	24,437	15.5
東三河北部	20,319	3,719	18.3
東三河南部	187,104	28,516	15.2
合 計	1,895,321	330,719	17.4
全 国	35,863,567	6,830,902	19.0

(資料) 「介護保険事業状況報告」、市町村報告数値

◆ 要介護者等の推移（各年4月末現在）

区 分		2000 年度	2017 年度	2020 年度	2023 年度
第 1 号被保険者		1,002,087人	1,812,858人	1,877,264人	1,895,321人
要支援者	要支援 1	9,336 人	42,011 人	44,587 人	47,443 人
	要支援 2		46,395 人	53,574 人	57,434 人
	小 計	9,336 人	88,406 人	98,161 人	104,877 人
	出現率	1.0%	4.9%	5.2%	5.5%
要介護者	要介護 1	19,278 人	53,504 人	56,853 人	61,210 人
	要介護 2	15,066 人	51,076 人	54,080 人	54,850 人
	要介護 3	13,068 人	37,300 人	41,004 人	43,743 人
	要介護 4	14,238 人	32,729 人	36,774 人	40,559 人
	要介護 5	10,838 人	24,020 人	25,060 人	25,480 人
	小 計	72,488 人	198,629 人	213,771 人	225,842 人
	出現率	7.2%	10.9%	11.4%	11.9%
合 計		81,824 人	287,035 人	311,932 人	330,719 人
出 現 率		8.2%	15.8%	16.6%	17.4%

(注) 2006年度から「要支援」が「1」と「2」に分かれた。

○ 2023年4月末現在の第1号及び第2号被保険者を合わせた要介護（要支援）認定者数の状況は、「要支援」が107,107人、「要介護」が230,829人で、合計337,936人となっています。

○ 介護度別では、「要介護1」が最も多く18.3%、次いで「要支援2」の17.4%で、この2区分で全体の35.7%となっています。

◆ 介護度別被保険者数の状況（2023年4月末現在）

区分	要支援			要介護						合計
	1	2	小計	1	2	3	4	5	小計	
第1号被保険者	人 47,443	人 57,434	人 104,877	人 61,210	人 54,850	人 43,743	人 40,559	人 25,480	人 225,842	人 330,719
構成比	14.3%	17.4%	31.7%	18.5%	16.6%	13.2%	12.3%	7.7%	68.3%	100.0%
出現率(対第1号被保険者)	2.5%	3.0%	5.5%	3.2%	2.9%	2.3%	2.1%	1.4%	11.9%	17.4%
第2号被保険者	人 759	人 1,471	人 2,230	人 759	人 1,433	人 997	人 942	人 856	人 4,987	人 7,217
構成比	10.5%	20.4%	30.9%	10.5%	19.9%	13.8%	13.1%	11.9%	69.1%	100.0%
合計	人 48,202	人 58,905	人 107,107	人 61,969	人 56,283	人 44,740	人 41,501	人 26,336	人 230,829	人 337,936
構成比	14.3%	17.4%	31.7%	18.3%	16.7%	13.2%	12.3%	7.8%	68.3%	100.0%

(5) 高齢者等のいる世帯の住居の状況

住宅の所有状況

- 2018年の住宅・土地統計調査によれば、本県の世帯数は3,005,200世帯で、そのうち「持ち家」の世帯が約6割となっています。
- 高齢者のいる世帯の住宅の所有関係をみると、「持ち家」の割合は、「65歳以上親族のいる世帯」全体では80.6%、特に夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦のみの「高齢夫婦世帯」では85.6%と、全世帯の61.3%を大きく上回っています。
- 一方、高齢者の「ひとり暮らし世帯」では、「持ち家」の割合は約6割と全世帯とほぼ同じですが、「公営、公社等の借家」の割合が13.3%と、全世帯の5.4%と比べ高くなっています。

◆ 住宅の所有状況

区 分	全 世 帯	65歳以上の 親族のいる世帯		
		ひとり暮らし世帯	高齢夫婦世帯	
持 ち 家	1,840,900 (61.3%)	956,900 (80.6%)	190,500 (61.9%)	275,700 (85.6%)
公営、公社 等の借家	161,200 (5.4)	87,200 (7.3)	40,900 (13.3)	21,600 (6.7)
民営の借家	928,400 (30.9)	137,500 (11.6)	75,300 (24.5)	22,300 (6.9)
給 与 住 宅	70,800 (2.4)	2,600 (0.2)	900 (0.3)	500 (0.2)
そ の 他	3,900 (0.1)	3,200 (0.3)	0 (0.0)	1,900 (0.6)
合 計	3,005,200 (100.0)	1,187,400 (100.0)	307,600 (100.0)	322,000 (100.0)

(注) 住宅の所有関係「不詳」を除く。カッコ内は構成比。
端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料) 2018年「住宅・土地統計調査」

住宅の建築時期

- 本県の持ち家の建築時期についてみると、65歳以上の世帯員がいる世帯の場合、1980年以前に建てられた住宅に住んでいる世帯の割合が40.2%となっており、持ち家全体の割合の25.3%に比べて高くなっています。

◆ 住宅（持ち家）の建築時期

区 分	持ち家の全体		65歳以上の世帯員がいる世帯		65歳以上の世帯員がいない世帯	
1950年以前	2.8%	25.3%	4.7%	40.2%	0.6%	7.7%
1951年～1970年	7.1		11.5		1.9	
1971年～1980年	15.4		24.1		5.2	
1981年～1990年	17.6		23.2		11.2	
1991年～2000年	21.0		18.7		23.6	
2001年～2010年	20.7		11.7		31.1	
2011年～2018年9月	15.5		6.2		26.4	

(注) 数値は、「持ち家」の建築時期別の構成比を表す。(建築時期「不詳」を除く。) 端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料) 2018年「住宅・土地統計調査」

高齢者のための住宅改修の実施状況

- 持ち家のある世帯の住宅改修の状況を見ると、65歳以上の世帯員がいる世帯の方が、65歳以上の世帯員がいない世帯に比べ、住宅改修の実施率が約15ポイント高くなっており、改修内容としては、「手すりの設置」や「トイレの改修」「浴室の改修」を実施した割合が高くなっています。

◆ 住宅（持ち家）改修の実施状況

区 分	持ち家全体	65歳以上の世帯員がいる世帯	65歳以上の世帯員がいない世帯
住宅改修の総数	12.3%	19.2%	4.8%
階段や廊下の手すりの設置	7.3%	11.7%	2.5%
屋内の段差の解消	2.2%	3.4%	0.9%
浴室の改修	5.0%	7.8%	2.0%
トイレの改修	5.4%	8.6%	1.8%
その他	0.8%	1.2%	0.5%

(注) 数値は、「持ち家」のうち、住宅改修を実施した総数の割合と、各区分の住宅改修を実施（複数実施あり）した割合を表す。

(資料) 2018年「住宅・土地統計調査」

(6) 高齢者の就業状況

○ 2020年の国勢調査によれば、本県の65歳以上の高齢者の就業者数は472,994人で、65歳以上人口の25.4%を占め、高齢者の4人に1人は何らかの仕事に従事していることとなります。

65歳以上人口に占める就業者の割合は、2010年と比べ2.1ポイントの増加、2015年と比較すると1.3ポイントの増加となっています。

○ 就業者総数に占める高齢者の割合は13.1%であり、2010年と比較すると3.6ポイントの増加、2015年と比較すると1.5ポイントの増加となっています。

◆ 高齢者の就業状況

区 分	就業者総数 A	65歳以上人口 B	65歳以上就業者数 C	C/A	C/B
2010年	3,676,174人	1,492,085人	347,589人	9.5%	23.3%
2015年	3,668,611	1,760,763	424,230	11.6	24.1
2020年	3,605,438	1,864,603	472,994	13.1	25.4

(資料)「国勢調査」

○ 産業別就業者の割合は、「教育・医療福祉・その他サービス」が22.8%で最も多く、次いで「鉱・建設・製造業」22.5%、「その他」21.2%の順となっています。

◆ 高齢者の産業別就業状況

区 分	2015年		2020年	
	人 数	割 合	人 数	割 合
農 林 漁 業	37,576人	8.9%	34,903人	7.4%
鉱・建設・製造業	104,771	24.7	106,504	22.5
卸 売 ・ 小 売	65,816	15.5	73,171	15.5
宿泊・飲食・生活サービス	48,665	11.5	50,055	10.6
教育・医療福祉・その他サービス	81,615	19.2	108,087	22.8
そ の 他	85,787	20.2	100,274	21.2
合 計	424,230	100.0	472,994	100.0

(資料)「国勢調査」

2 高齢者の将来推計

(1) 推計人口

○ 本県の65歳以上人口は、「国勢調査(2020年)」では191万人(総人口の25.3%)ですが、「日本の地域別将来推計人口(2023年推計)」による推計では、2025年には195万人(同26.2%)、2030年には201万人(同27.3%)、さらに2040年には225万人(同31.9%)と、3人に1人は高齢者となり、高齢者人口は増えるものと見込まれています。

○ 本県の高齢化率は、全国の推移(2020年:28.6%、2025年:29.6%、2030年:30.8%、2040年:34.8%)と比較すると、3ポイント程度下回っており、人口構成は若いと言えます。

しかしながら、75歳以上人口の割合は、全国と比較して低いものの、2020年の14.3%が、団塊の世代が75歳以上となる2025年には15.6%(1.3ポイント増)、2040年には17.2%(2.9ポイント増)と推移し、大幅に増加すると見込まれています。

一方、生産年齢人口割合は2020年の61.7%が、2040年には56.9%(4.8ポイント減)となり、減少していくと見込まれています。

◆ 人口(年齢区分別)の将来推計 (万人)

		0歳 ~14歳	15歳 ~64歳	65歳以上		計	生産年齢 人口割合 (%)	高齢化率 (65歳以上人口の割合)			
				65歳 ~74歳	75歳 以上			(%)	65歳 ~74歳	75歳 以上	
全国	2020年	1,503	7,509	3,603	1,743	1,860	12,615	59.5	28.6	13.8	14.7
	2025年	1,363	7,310	3,653	1,498	2,155	12,326	59.3	29.6	12.2	17.5
	2030年	1,240	7,076	3,696	1,435	2,261	12,012	58.9	30.8	11.9	18.8
	2035年	1,169	6,722	3,773	1,535	2,239	11,664	57.6	32.3	13.2	19.2
	2040年	1,142	6,213	3,929	1,701	2,227	11,284	55.1	34.8	15.1	19.7
愛知県	2020年	98	465	191	93	108	754	61.7	25.3	12.3	14.3
	2025年	90	461	195	78	116	745	61.9	26.2	10.5	15.6
	2030年	83	451	201	80	121	735	61.4	27.3	10.9	16.5
	2035年	79	431	210	91	119	721	59.8	29.1	12.6	16.5
	2040年	78	401	225	104	121	705	56.9	31.9	14.8	17.2

(注) 端数処理の関係で、合計値が合わない箇所あり。

(資料) 「日本の地域別将来推計人口(2023年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)

この推計では、「国勢調査」による2020年10月1日現在人口(年齢・国籍不詳をあん分済)を推計の出発点となる基準人口に用いています。

(2) 被保険者数の推計

- 各市町村が行った被保険者数の推計を集計した結果、2026年度の被保険者数は約450万人と見込まれます。
- 2026年度の65歳以上の第1号被保険者は約191万人、40～64歳の第2号被保険者は約259万人となる見込みです。
- 2040年度の被保険者数は2026年度と比較し、約13万人減の約437万人となると見込まれます。一方で、第1号被保険者は、約26万人増の約217万人となると見込まれます。

◆ 被保険者数の推計状況

区 分		2024年度	2025年度	2026年度 (A)	2040年度 (B)	(B) - (A)
被保険者数合計		人 4,489,864	人 4,497,487	人 4,500,848	人 4,373,246	人 △127,602
内 訳	第1号被保険者	1,905,595	1,909,944	1,913,996	2,165,174	251,178
	第2号被保険者	2,584,269	2,587,543	2,586,852	2,208,072	△378,780

(資料) 市町村報告数値

(3) 要支援者数及び要介護者数の推計

○ 2026年度における県内の要支援者数及び要介護者数は、第1号被保険者の18.6%の355,500人と見込まれており、このうち、要支援者数は第1号被保険者の5.8%の110,456人、要介護者は12.8%の245,044人と見込まれています。

また、2040年度には、要支援者数及び要介護者数は、第1号被保険者の19.6%の424,930人と見込まれており、このうち、要支援者数は第1号被保険者の5.8%の125,326人、要介護者は13.8%の299,604人と見込まれています。

◆ 要介護者等の推計状況

区 分		2024年度	2025年度	2026年度	2040年度
第1号被保険者		1,905,595人	1,909,944人	1,913,996人	2,165,174人
要支援者	要支援1	48,848人	48,952人	48,798人	54,141人
	要支援2	59,962人	60,929人	61,658人	71,185人
	小 計	108,810人	109,881人	110,456人	125,326人
	出現率	5.7%	5.8%	5.8%	5.8%
要介護者	要介護1	63,203人	64,224人	65,035人	76,728人
	要介護2	57,099人	58,210人	59,229人	72,168人
	要介護3	45,577人	46,806人	47,981人	59,707人
	要介護4	42,613人	43,923人	45,207人	56,889人
	要介護5	26,331人	26,997人	27,592人	34,112人
	小 計	234,823人	240,160人	245,044人	299,604人
	出現率	12.3%	12.6%	12.8%	13.8%
合 計		343,633人	350,041人	355,500人	424,930人
出 現 率		18.0%	18.3%	18.6%	19.6%

(注) 要支援者、要介護者について、第2号被保険者分は除く。

(資料) 市町村報告数値

(4) 要介護者等の居宅・施設別推計

○ 2026年度の要介護者及び要支援者のうち、介護保険施設利用者は48,916人で、要介護者等全体の13.5%であり、また、要介護者等から介護保険施設利用者を除いた居宅の者は314,125人で、要介護者等全体の86.5%と推計されます。

○ 2040年度の要介護者及び要支援者のうち、介護保険施設利用者は61,879人で、要介護者等全体の14.3%であり、また、要介護者等から介護保険施設利用者を除いた居宅の者は369,513人で、要介護者等全体の85.7%と推計されます。

◆ 要介護者等の居宅・施設別推計状況

区 分		2024年度	2025年度	2026年度	2040年度
要介護者等		350,997人	357,499人	363,041人	431,392人
居宅	計	303,306人	309,197人	314,125人	369,513人
	要介護者等占める割合	86.4%	86.5%	86.5%	85.7%
施設	介護老人福祉施設	28,832人	29,328人	29,699人	37,756人
	介護老人保健施設	16,873人	16,962人	16,984人	21,770人
	介護医療院	1,986人	2,012人	2,233人	2,353人
	小計	47,691人	48,302人	48,916人	61,879人
要介護者等占める割合		13.6%	13.5%	13.5%	14.3%

(注) 表中の「居宅」には、自宅の他、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、認知症グループホームなどが含まれる。

「施設」の欄については、各年度における利用者数の推計。

「介護老人福祉施設」には、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の利用者数を含む。

(資料) 市町村報告数値